

## Fort Hazard 地下攻略戦

Hurricane King の座を奪うため、Kerdak Bonefist の首を狙うカミカゼ海賊団。Kredak が潜むという Fort Hazard の地下を目指し、秘密の抜け道を通して先に進むのだった。

### 硝煙の香りがする Golem

倉庫の下から続く古いカタコンベを抜けていくと、行き止まりに。そんなわけ無いだろうと言うことでホブノブが探してみると隠し扉があった。「なんか向こうから音がするので注意して開けて下さい」カミカゼはどう注意したらいいかわからなかったがとりあえず隠し扉を開けると、向こうには石造りの砦らしい広めの空間が広がっており、そしてそこにあるダブルドアの前には片腕がノコギリ、片腕が大砲になったいかにも凶悪な Golem がいた。

侵入者に気がつく、さっそく Golem は大砲を連射してくる。100mm 弾でも銃は銃、touch attack である。しかも swift で全弾リロード。ホブノブはインビジビリティを試みると、攻撃されなかった。どうやら透明は見えないよう。

カミカゼに近づいた Golem は突然足下にばらばらと火薬を落とし、大爆発させた。透明なホブノブごと爆炎に包まれる。フレアの火力も、Golem には役立たず。ただし、奥から出てきた Alchemist を Wall of Force で分断する。

Golem はノコギリで殴ってもそこそこ痛く、また大砲でスラムされると 0 距離射撃される仕様に変更されていた。だが、事前情報から Golembane Scarabe を買っていたカミカゼに殴り壊された。

Alchemist 達は、フレアが Blink からの壁抜けスプリングチェーンライトニングなどでいじめていた。飽きてきたホブノブは、ダブルドアを抜けて勝手に先に行ってしまう。すると、罠が発動して、また壁のアロースリットから殺意を持った矢が飛んできた。それにもめげず最後の扉までたどり着くと、その向こうには潮の香りがする大きな洞窟が広がっていた。

Dimension Door でホブノブが戻ってきてまもなく、Alchemist 達は全滅した。が、爆弾連射でヴァンリートが死んでしまった。

### ホブノブって 5Lv 呪文とか使えたんだ！

ヴァンリートをその場で Raise Dead し、ダブルドアは避けて辺りを探索する。上の Fort Hazard 本丸につながるルートも見つけたが、こちらは本命ではない。何も見つからなかったが、ホブノブは先ほど罠部屋で撃ってきたのは隠れている見張りだろうと考え、潜んでいそうな辺りに Passwall を使う。果たしてそこにいた Crossbow アーチャー (Slayer) は奇襲を受け、壊滅した。

1 人生き残った奴を尋問すると、この先には、「変なドラゴン」、「ダイモン」、「Wereshark」、「10 連射の Tasdok Goldtooth」などがいることが判った。こいつは逃がしてもらえた。

ホブノブが罠を解除し、先に進む。

### Skeletal Dragon と鯨海賊

罠部屋を抜けると、確かにドラゴンでも潜むことが可能そうな水面が広がっている。フレアが Arcane Eye を飛ばすと、水の中に Bronze ドラゴンらしいスケルトンが。

待っていると、スケルトンが浮かび上がってきた。もしや Ravener (PF 世界の Dracolich) と思ったが、ただのスケルトンで、カミカゼがパンチしていたら壊れた (Final Strike くらいはしたが、フレアの偵察のおかげで電気対策万全で、問題無かった)

一方、スケルトンの相手は面倒くさいと思ったのか、少し先の水面から 30ft くらいの高さにある、壁面に作られた見張り所に Spider Climb で向かうホブノブ。Invisi していれば平気だろうとするすると近づいていく。中には 4 匹の鯨人間がいた。ここで、なぜか窓から中に入ったホブノブ。だが、鯨人間は Bloodrager で、See Invisibility がかかっていた！

慌てて Web を張って逃げようとするが、威力を押さえた Fireball で焼かれてしまう。  
こいつらは Falkata 持ちで、逃げようとするホブノブをクリティカルでなます切りにしてしまった  
(が、Death デッキの引きで hp-70 で持ちこたえるホブノブだった)  
ドラゴンの Final Strike のケガを癒やしていた他の PC 達は、ホブノブの悲鳴を聞いて駆けつける。  
フレアが何発か強化 Fireball を撃つと、鯨人間達は息絶えた。  
ヴァンリートがホブノブの所に向かうと、奥の扉が開いて、Large サイズの鯨人間が。  
「俺はキャプテン・ホラス・切り裂き歯だ。Hurricane キングに逆らう愚か者はミンチにしてやる」

フレアのさらなる Fireball にも平気な顔をして Riptooth はヴァンリートをわしづかみにし、それを武器としてカミカゼとバハンガに Whirlwind アタック。これは、敵にも武器(=ヴァンリート)にもダメージが入るという超効率のよい攻撃なのだ。だが、カミカゼはこれもさっと避ける。  
これは劣勢とバハンガは後退。フレアは Fireball を撃ちつくし、Scorching Ray などを撃つが、ヴァンリートを盾にされる上、太い (hp600 点) Riptooth は倒れない。逆に、後ろに控える Bloodrager のちまちました Magic Missile なんかを受ける。  
カミカゼが起き上がりこぼしをしている間にヴァンリートソードは壊れてしまった。だが、Riptooth も攻めに転じたバハンガの攻撃呪文を受けてついに倒れるのだった (Come and get it するのを忘れていた)。  
ぼろぼろになったので、ひとまず帰って回復する。そして、10 連射の Tasdok に立ち向かうために、Arrow Snach の Glove なんかを買い漁るのだった。あと、ババアは激戦の間いつの間にか姿を消していた。

#### Kredak 海賊団幹部との戦い

見張り小屋の脇を抜けて進むとさらに広い空間が広がっている。そこは地底の隠れ港だった。  
見張り塔を避け、不釣り合いな邸宅が目指すところだろうとカミカゼ達は向かう。  
正面のドアを開け、「カミカゼ海賊団だ！」と呼ばわる。中にいたのは素手戦士、鯨人間、そしてバードらしい人物。素手戦士は Grappler だが、悲しいほど弱い。鯨人間は、フレアの Fireball を警戒してカウンタースペルの Ready をしていた。  
Bard は相手を降参させる強力な呪歌を持っていたが、フレアにセーブを通され、2 回目を撃つ前にカミカゼに Stun させられて行動不能に。  
このまま圧勝か、と思っていたところ奥の扉が開いて、片方の犬歯が金色のハーフオーク、Tasdok Goldtooth がやってくる。  
Tasdok は拳闘奴隷をさせられていたところを Kredak に拾われ、以来忠実に使えてきた彼のファーストメイトだ。そういえば、カミカゼ海賊団に Letter of Marque を渡すときのテスト担当者でも会った。その恐るべき Doubleshot Pepperbox が火を噴くと、カミカゼはぱったりと倒れた。これは不味いと Wall of Force を張るフレア。Tasdok はよくわからず無駄撃ちするが、力場の壁にヒビも入らないことに驚き、奥に向かって怒鳴る。「Hyapatia、なんとかしてくれ！」すると、戦場に Large サイズの蛇人間、ラミアが Dimension Door してきた。そして、後衛陣に Horrid Wilthing をかます。  
こいつは高レベル Sorcerer ラミア・マトリアークだったのだ (ついでに Kredak の愛人)。  
一方、Tasdok のお供で出てきた拳闘士は冷静に回り道をして建物の外に出ていた。そして、邸宅の隣にある港酒場の中に叫ぶ「先生、お願いします！」  
これ以上何が出てくるのかと試してみるが、直ぐには出てこない。どうやらバフしているらしい。  
そんなことをしているうちに、最初の拳闘士は数を減らしていた。だが、鯨魔法戦士がずっと Ready をしているので、フレアは思うように爆殺できず、Ching Lightning などをかける。そこへラ

ミアが接敵して、Cold Ice Strike の後、自分を Heal。ラミアは Sorcerer なのに信仰呪文も使えるのだ。

Tasdok も回り道して、戦線に復活し、また酒場からもう 1 人出てきた。そいつは、片目に傷がある、飲んだくれの男。手に持つ割れた酒瓶は、まがまがしいオーラが漂っている。「ヒック、俺がせっかく傷ついた心を癒やすために飲んでるってーのにやかましいんだよ！」その場の誰一人して知るものはいなかったが、彼こそは遠くテストラシアの地でいろいろあって墮ちパラになったバーバリアン、アキロスだった。

アキロスと Tasdok を封じるため、フレアはさらに Wall of Force を張る。だが、アキロスはヘズロウを召喚し、なぜかヘズロウはアキロスと一緒に Wall of Force を越えてテレポートしてきた。フレアは大分絶望しつつも、Fireball を封じている鯨を Resilient Force で閉じ込める。その頃、カミカゼももう一匹の鯨を撲殺。これで Fireball が撃てるようになった。ラミアも同じことをすればいいと気がつき、シミターで殴るのをやめて Tasdok を壁の内部にテレポートで連れてくる。Akiros はフレアに突撃して殴り（Good じゃないので大して痛くはないが）、Tasdok も銃を連射してヴァンリートをしめる。この後、ヴァンリートは Death デッキの引きが悪く死んでしまう。だが、フレアのアシッドボールが爆発し、ヘズロウとアキロスは大ダメージを受ける。これでアキロスは、「やべえよ、やべえよ…」と言ってヘズロウと共に逃げてしまった。Tasdok も傷つくが、すかさずラミアが直し、Tasdok はカミカゼに銃を連射する。だが、さしもの 10 連射もカミカゼには全弾命中とは行かない。

生き残った PC 達は建物の中に逃げ込む。フレアは(どうやってか)Tasdok の Full Attack に耐えつつ、Scorching Ray を撃ち込むが、Tasdok は倒れず、ラミアがすかさず回復する。が、ここで、Tasdok は Invisibility が見えないことが発覚、フレアはカミカゼに Gr.Invisi をかける。AC の下がった Tasdok 相手に、カミカゼは連打を決める。また、こちらも Gr.Invisi がかった**ホブノブ**(アースエレメンタルに変身中)が、Dex-less 相手に珍しくパンチを当てていく。ラミアはカミカゼの Gr.Invisi を Quicken で剥ぎながら Tasdok を回復するが、次第に回復量が追いつかなくなり、ついに Tasdok は倒れた。

ラミアも高レベルスロットを使いつくし、近接攻撃に移るが、二刀流は AR に阻まれ、バハンガの呪文で倒されてしまった。

激戦は終わった。ヴァンリートの死体を回収し、そそくさと撤退するカミカゼ海賊団は、Mirage Arcana が解け、隠されていた Kerdak の海賊船が隠れ港に姿を現すのを見た。Hurricane King は、自分の船の上を最終決戦の地として選んだに違いない…。